



週間情報



No.2742

発行日 平成27年11月4日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 電話 03(3234)1321

両会の動き

◆ 全国消防長会役員会を開催

全国消防長会

平成27年10月29日（木）、熊本市（ホテル日航熊本）において、全国消防長会役員会を開催しました。

役員会における議案審議及び報告事項については次のとおりです。

【議案審議】

- 1 平成28年度消防財源の確保について
- 2 広域化に関連する課題検討委員会の検討結果について
- 3 第39回全国消防職員意見発表会の開催及び実施要領について
- 4 次期役員会の開催について

【報告事項】

- 1 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会等に関する情報連絡室の設置について
- 2 消防問題検討会の検討状況等について
- 3 第5回緊急消防援助隊全国合同訓練について
- 4 伊勢志摩サミット消防・救急対策委員会について
- 5 救急自動車等に備え付ける反射材について
- 6 「消防大学校における教育訓練等に関する検討会」について
- 7 「119番通報の多様化に関する検討会」の設置について
- 8 平成28年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の作品募集について
- 9 第45回全国消防救助技術大会の日程等について
- 10 一般財団法人全国消防協会設立50周年記念事業について



【全国消防長会役員会の様子】

◆ 全国消防長会消防問題検討会を開催

全国消防長会

平成27年10月29日（木）、熊本市（ホテル日航熊本）において、全国消防長会消防問題検討会を開催しました。

消防問題検討会における議事については次のとおりです。

【議事】

- 1 人口減少社会における持続可能な消防体制のあり方に関する検討会の開催状況について
- 2 意見交換



【消防問題検討会の様子】

◆ 一般財団法人全国消防協会通常理事会・臨時評議員会を開催

一般財団法人全国消防協会

平成27年10月29日（木）、熊本市（ホテル日航熊本）において、一般財団法人全国消防協会通常理事会・臨時評議員会を開催しました。

通常理事会・臨時評議員会における議案審議及び報告事項については次のとおりです。

○ 通常理事会

【議案審議】

- 1 平成27年度収支予算の補正（案）について
- 2 賛助会員の加入について
- 3 臨時評議員会の開催について

【報告事項】

- 1 次期通常理事会の開催について
- 2 平成28年度全国優良消防職員表彰式の日程及び地区支部別表彰推薦割当人員等について
- 3 第45回全国消防救助技術大会の日程等について
- 4 一般財団法人全国消防協会設立50周年記念事業について
- 5 平成28年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の作品募集について
- 6 全国消防グループ保険の制度改定に伴う結果について
- 7 バイスタンダー補償の導入について

○ 臨時評議員会

【議案審議】

- 1 平成27年度収支予算の補正（案）について

【報告事項】

- 1 賛助会員の加入について
- 2 臨時評議員会の開催について
- 3 平成28年度全国優良消防職員表彰式の日程及び地区支部別表彰推薦割当人員等について
- 4 第45回全国消防救助技術大会の日程等について
- 5 一般財団法人全国消防協会設立50周年記念事業について
- 6 平成28年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の作品募集について
- 7 全国消防グループ保険の制度改定に伴う結果について
- 8 バイスタンダー補償の導入について



【通常理事会・臨時評議員会の様子】

消防本部の動き

行事

◆ 大学生防災サバイバル “心と体のトレーニング”

松山市消防局（愛媛）

松山市消防局では、平成27年8月7日（金）・8日（土）と9月17日（木）・18日（金）の計2回、市内に通学する大学生を対象に「消防教育課程：大規模災害発生時に生き残るための防災サバイバル」を初めて開催しました。

サバイバル初日は、株式会社タフ・ジャパンの鎌田修広氏を特別講師に迎え、集団行動の基礎、身体の特長、体液に近い補給水の作り方、コミュニケーションの必要性等、大規模災害に遭遇した際に生き抜く方法を体験しながら自助・共助の大切さを学びました。

2日目は、東日本大震災に愛媛県隊として出動した緊急消防援助隊員から、悲惨な現場の様子や活動内容について聴講し、体験学習ではロープ渡り、ロープ結索、起震車体験、規律訓練のほか、応急手当訓練等を行い2日間の防災サバイバルが無事終了しました。

参加した大学生は、終了後に「大規模災害に遭遇した時は今回の体験を生かし行動したい。」と感想を述べていました。

今後も、地域防災で即戦力として活躍できる人材の育成に取り組んでいきます。



【身体の特長（力を発揮できるポーズ）体験の様子】



【防災サバイバル（土のう作り）集合写真】

◆ 救急イベントによる救急啓発活動を実施

上伊那広域消防本部（長野）

上伊那広域消防本部高遠消防署では、救急医療週間の最終日である平成27年9月12日（土）、管轄内の商業施設駐車場を借用し、救急一日出張所を開催しました。

救急一日出張所では、救急車の見学会、119番通報体験、心肺蘇生法とAED取り扱い体験を行いました。特に119番通報については、普段経験する機会が無いので多くの方に体験していただきました。体験者から「実際に電話するとなると慌てると思う。練習できて良かった。」などの感想を聞くことができました。



【救急一日出張所の様子】

◆ 防火ポスターコンクール審査会を開催

千葉市消防局（千葉）

千葉市消防局予防課では、平成27年9月11日（金）、当市消防局7階作戦室において、平成27年度の防火ポスターコンクールの審査会を開催しました。

防火ポスターの募集は、市内の少年消防クラブ員がポスター等の作成を通して、防火・防災意識の育成向上を図るとともに、その作品を展示することにより、市民の防火・防災意識の向上に寄与することを目的に実施しており、今年は、123点の応募があり、厳正な審査の結果、特別賞14点と佳作12点を決定しました。

作品は、どれも火災予防に対する真剣な気持ちが込められた、素晴らしい作品ばかりでした。特別賞及び佳作については、デパートのギャラリーに展示し、特別賞14点は、秋の全国火災予防運動のポスターとして、市内の全町内自治会及び事業所等で掲示されます。



【防火ポスターコンクール審査会の様子】

◆ コンサートホールで演奏中に大規模地震が！

東京消防庁（東京）

東京消防庁小平消防署では、平成27年9月14日（月）、小平市民文化会館「ルネこだいら」において、コンサート中に大規模な地震が発生したことを想定し、演奏を中断して会場のすべての人が避難する大規模な訓練を実施しました。

この避難訓練付き吹奏楽コンサートは、管内の一橋大学津田塾大学吹奏楽団70名の協力を得て、一般公募の市民115名、ルネこだいらスタッフ22名、合計207名が参加する初の試みで行われました。

参加者からは、「最近自然災害が頻発し怖いと思っていたら、9月12日（土）の早朝には東京湾を震源とする地震が発生した。万一のとき冷静に行動できるよう、今日の貴重な体験を今後の防災の意識付けとしていきたい。」との感想が聞かれました。



【コンサートホールでの訓練の様子】

◆ 消防フェア2015を開催

小樽市消防本部（北海道）

小樽市消防本部では、平成27年9月27日（日）、「見る、聞く、ふれる消防体験」をキャッチフレーズに消防フェア2015を開催しました。

防火・防災意識の高揚と実践的な行動力を楽しく養うため、「放水体験」、「救急応急手当」、「消火器体験」などの各ブースを設け、スタンプラリー形式で体験すると防災グッズをプレゼントするイベントとし、子どもから大人まで大勢の来場者で大盛況となりました。

また、ほかにも消防団PRコーナーにおいて、消防団の活動の内容や入団促進も行ったことにより、市民に身近な消防をアピールできたものと思っています。

このイベントを通じて、子ども達からは「将来は、消防士になりたい！」などの声が多く聞こえていました。これからも安心・安全なまちづくりに向け努力したいと考えています。



【消防フェア2015の様子】

◆ 消防拠点移転訓練を実施

能代山本広域市町村圏組合消防本部（秋田）

能代山本広域市町村圏組合消防本部では、平成27年9月3日（木）、消防拠点移転訓練を実施しました。

この訓練は、当消防本部の震災時消防対策計画に基づき、災害発生時に消防職員を緊急に招集し、早期に災害活動に着手するための初動体制を確立すること、及び消防庁舎の損壊危険や津波等による道路冠水時の出場障害に備え、消防拠点を移転して消防機能の維持を図ることを目的として実施したものです。

今回の訓練は、管内で数日間降雨が続き、さらに震度6弱の地震が発生、秋田県に津波の高さを「巨大」とする大津波警報が発表されたと想定し訓練を実施しました。消防機能の維持を目的に震災指揮本部等の本部機能を能代市の高台に位置する公共施設に、消防車両等の実働隊拠点を「旧能代北高校跡地」に開設しました。



【消防拠点移転訓練の様子】

◆ 国際消防救助隊連携訓練を実施

名古屋市消防局（愛知）

名古屋市消防局では、平成27年9月9日（水）、10日（木）の2日間、名古屋市消防学校において、国際消防救助隊連携訓練を実施しました。

この訓練には、全国から22消防本部32名の国際消防救助隊員、愛知県警察本部・第三管区海上保安本部の国際緊急援助隊員が各4名及び国際緊急援助隊救助チーム医療班11名が参加し、1小隊10名の4小隊を編成し、各小隊が2日間を通して4つのブースで想定訓練を実施しました。

参加隊員は、国際緊急援助活動を実施するために必要な知識、技術等を習得するとともに、他の登録消防本部や関係機関との連携した訓練を実施することができました。



【国際消防救助隊連携訓練の様子】

◆ 隣接する4都市の消防機関による合同消防訓練を実施

横浜市消防局（神奈川）

横浜市消防局では、平成27年9月17日（木）、管内の横浜・八景島シーパラダイスにおいて、横浜市消防局、横須賀市消防局、逗子市消防本部及び鎌倉市消防本部の計4都市による合同消防訓練を実施しました。

集客施設の大規模火災を想定し、梯子隊による要救助者の救出訓練、各消防機関の消防隊による連携消火訓練を実施しました。

平成21年度から開始した隣接する消防機関合同による訓練は、今年から鎌倉市が参加し、初めて4都市合同の消防訓練となりました。これにより各消防機関相互における顔の見える関係が一層推進され、強固な連携体制が構築されました。



【消防隊による連携消火訓練の様子】

研修等

◆ 分娩介助実習を実施

行田市消防本部（埼玉）

行田市消防本部では、平成27年9月10日（木）、職員研修として県内施設から助産師を講師として招き、分娩介助実習を実施しました。

この研修は、「周産期救急における基礎知識」をテーマとした講義に始まり、分娩トレーナーを使用した分娩介助基礎実習、救急現場を想定したシミュレーション訓練が行われました。

参加者は、助産師の直接指導により産科領域の処置を習得するとともに、救急隊員としての責任の重さと、命の尊さを改めて実感できた研修となりました。



【分娩介助実習の様子】

その他

◆ 人命救助功績者に感謝状を贈呈

益田広域消防本部（島根）

益田広域消防本部では、平成27年9月29日（火）、山口県光市立大和総合病院において、人命救助に功績のあった当該病院勤務の看護師に対して、消防長感謝状を贈呈しました。

この事案は、平成27年8月15日（土）、鹿足郡津和野町地内の高津川で、意識の無い状態で流されている女兒（7歳）を救出し、心肺蘇生法を実施、救急隊に引継ぎ、一命をとりとめました。その後、女兒は後遺症もなく元気になっているとのこと。

表彰を受けた看護師は「医療に携わっているので知識はあるが、体が思うように動かない部分もあった。」と振り返り、「一般の人は混乱する状況かもしれない。人命救助の講習を受けて知識を持っていれば動くことができる。」と話されました。



【感謝状贈呈式の様子】

◆ 消防本部のFAX番号等変更について

○ 31412 塩谷広域行政組合消防本部

新FAX番号 : 0287-44-2525

新アドレス : syoubousoumu@fire-shioya.jp

平成27年10月30日から運用開始

消防学校からの便り

◆ 初任科入校式を実施

千葉県消防学校（千葉）

千葉県消防学校では、平成27年9月29日（火）、初任科第161期の入校式を挙行了しました。

県内27の消防（局）本部より119名が入校し、平成28年3月14日（月）までの間、厳しい教育訓練を受けることとなります。

千葉県消防学校では、服務義務、基本的な安全管理、消防業務全般の概要等を理解させ、卒業後は、直ちに警防隊員として勤務できるよう教育訓練を実施してまいります。



【入校式の様子】



【代表学生による宣誓の様子】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 平成27年秋季全国火災予防運動の実施期間にあわせた住宅防火に関する新聞広告の掲載について（10月22日、事務連絡）

予防課より、各都道府県消防防災主管課、東京消防庁・政令指定都市消防本部あてに次のとおり事務連絡されましたのでお知らせします。

「平成27年秋季全国火災予防運動」の実施にあわせて、平成27年11月2日（月）から11月8日（日）までの間、別紙（省略）のとおり、住宅防火に関する新聞広告が掲載されますのでお知らせいたします。

多くの方が本広告を目にすることとなりますので、各都道府県及び消防本部のご担当者様におかれましては、広告掲載にあわせた住宅防火に関する広報などに努めていただくとともに、地域住民からの住宅防火に関する相談等に適切にご対応いただきますようよろしくお願いいたします。

各都道府県消防防災主管課におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対してもこの旨お知らせくださいますようお願いいたします。

※ 本広告のとおり、「住宅防火関係」で検索を行うと、最初に以下の消防庁ホームページがヒットします。

<http://www.fdma.go.jp/html/life/juukei.html>

○ 全文は、消防庁ホームページ

（http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2710/pdf/271022_jimurenraku.pdf）に掲載されています。

【問い合わせ先】 予防課
担当： 齋藤、森野

報道発表

◆ 平成27年秋の褒章（消防関係）（11月2日、消防庁）

平成27年秋の褒章（消防関係）受章者は、94名で褒章別内訳は次のとおりです。

紅綬褒章	2名
黄綬褒章	6名
藍綬褒章	86名
計	94名

（受章者名等は、別添（省略）の受章者名簿に記載されています。）

発令年月日 平成27年11月3日（火）

受章者のうち、

- ① 紅綬褒章は、災害現場等において、自己の危険を顧みず人命救助に尽力した者
- ② 黄綬褒章は、永年にわたり消防機器の研究開発及び製造販売業務や消防設備保守業務等に精励するとともに、業界の発展に大きく寄与した者
- ③ 藍綬褒章は、消防団員や婦人（女性）防火クラブ員として永年にわたり消防防災活動に献身的に努力し、消防の発展に大きく寄与した者を対象としています。

○ 伝達式日程

- 1 日時 11月13日（金）11時15分～11時45分
- 2 場所 スクワール麹町3階「錦華」の間
千代田区麹町六丁目6番地
- 3 出席予定者 総務大臣、消防庁長官、消防庁次長、国民保護・防災部長、
消防大学校長、消防研究センター所長、総務課長

※ 名簿には、10月23日（金）の閣議において、褒章が授与されることに決定した者を記載しておりますが、発令日までの間に、名簿の記載事項に異動が生じることもありますので、ご承知おきください。

○ 全文は、消防庁ホームページ

（http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h27/11/271102_houdou_1.pdf）に掲載されています。

【問い合わせ先】総務課
担当：篠宮政策評価広報官・野村係長

◆ 平成27年秋の叙勲（消防関係）（11月3日、消防庁）

平成27年秋の叙勲（消防関係）受章者は、574名で勲章別内訳は次のとおりです。

瑞宝小綬章	18名
旭日双光章	3名
瑞宝双光章	44名
瑞宝単光章	509名
計	574名

（受章者名等は、別添（省略）の受章者名簿に記載されています。）

発令年月日 平成27年11月3日（火）

受章者は、永年にわたり国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するとともに消防力の強化、充実に尽力され、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与された方々です。

○ 伝達式日程

- 1 日時 11月11日（水） 11時00分～11時30分
- 2 場所 ニッショーホール
港区虎ノ門二丁目9番16号
- 3 出席予定者 総務大臣、消防庁長官、消防庁次長、国民保護・防災部長、
消防大学校長、消防研究センター所長、総務課長

※ 名簿には、10月27日（火）の閣議において、勲章が授与されることに決定した者を記載しておりますが、発令日までの間に、名簿の記載事項に異動が生じることもありますので、ご承知おきください。

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h27/11/271103_houdou_1.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】総務課
担当：篠宮政策評価広報官・野村係長

※ 消防庁各課室の直通電話番号は (<http://www.fdma.go.jp/neuter/about/tel.html>) に掲載されています。

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

週間情報への投稿は企画課へ！

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail : weekly@fcj.gr.jp